

京都九条病院 年 報

2013 年度（平成 25 年度）

医療法人同仁会（社団）
京都九条病院

ご 挨拶

わたくしが京都九条病院に就職して15年が経ちました。今回の「京都九条病院 年報」の巻頭の「ご挨拶」を執筆するにあたって数えてみて初めて判りました。正直、そんなに経ったのかと改めて驚いています。わたくしの医師としての履歴は極めて単純で、京都府立医科大学（1972—1981年）、済生会滋賀県病院（1981—1990年）、京都府立医科大学（1990—1999年）とほぼ10年刻みで一か所の医療機関に勤めてきて、医師によくある出張などの短期就職もなく履歴書を書くのには非常に都合が良かったです。また、一時問題になっていた年金が繋がらないというようなこともありませんでした。したがって、就職当初、私の中ではこの京都九条病院にも10年ぐらいお世話になるのだなといった考えがあったように思います。しかし、不思議なことにそんなことなど一度として考えない間に15年が過ぎ去っていました。思い起こしても、10年などというものを意識する暇も余裕もなかったように思います。毎日、毎日が精いっぱい働くことの「積み重ね」で、途中で何年経ったなどと考えることはありませんでした。それとも、わたくしにとって安住の場所を得たためだったからでしょうか。おそらく後者だと思います。

とは言うものの、良い、悪いにかかわらず、この15年間には本当にいろんなことが起こり、その都度それぞれの事象と真摯に向き合ってきたと思っています。もとよりわたくしだけでなく、全ての職員がそうでありました。そしてそれら諸々の経験の「積み重ね」のうえに現在の京都九条病院があります。

今年の「年報」も昨年以上に充実したものとなっています。この「年報」に目を通していただく各位がわれわれの病院のさまざまな「積み重ね」を少しでも感じていただければそれに勝る幸いはありません。

今後とも京都九条病院に対するご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2014年11月11日

京都九条病院

院長 山木 垂水

● ● ● 目 次 ● ● ●

統 計 (2013年4月～2014年3月)

医事統計指標	3
患者数・救急数・平均在院日数	4
診療圏分布	5
生理検査件数	6
臨床検査件数	7
臨床工学検査件数	8
放射線科検査件数	9
科別手術件数	10
内視鏡検査件数	11
リハビリテーション部	
1. リハビリテーション実施実績	12
2. 依頼診療科分布	13
3. 訪問リハビリテーション実施実績	13
薬剤部	14
分類別抗菌薬使用密度	15
診断群分類上位一覧	16
施設基準届出一覧	17

業 績 集

2013年1月1日～2014年3月31日	21
----------------------	----

統 計

2013 年 4 月～2014 年 3 月
(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

医事統計指標

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
病床数	207床	207床	207床	207床

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
延べ外来患者数	67,261	71,826	78,818	78,689

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
延べ入院患者数	66,453	68,214	68,311	67,667

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
新入院患者数	2,774	3,065	3,296	3,230

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
退院患者数	2,754	3,083	3,279	3,237

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
平均在院日数	19.1	17.7	16.8	17.1

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
病床利用率	88.0%	90.0%	90.4%	89.6%

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
死亡退院患者数	210	238	184	195
退院患者数	2,754	3,083	3,279	3,237
死亡退院患者率	7.6%	7.7%	5.6%	6.0%

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
救急搬入件数	2,012	1,707	1,572	1,586
救急搬入入院件数	907	950	873	836
救急搬入入院率	45.1%	55.7%	55.5%	52.7%

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
職員健康診断受診率	100%	100%	100%	100%
職員インフルエンザ予防接種受診率	92.2%	93.2%	93.9%	97.0%

患者数・救急数・平均在院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度													
外来患者数	6,514	6,898	6,327	6,708	6,683	6,131	6,705	6,621	6,599	6,683	6,133	6,687	78,689
新患者数	991	918	948	891	957	875	881	866	976	1,109	1,030	1,012	11,454
入院患者数	5,598	5,566	5,636	5,871	5,936	5,334	5,937	5,463	5,501	5,812	5,223	5,790	67,667
入院数	259	275	243	276	286	255	266	273	260	301	248	288	3,230
退院数	268	267	243	279	285	253	278	271	278	270	251	294	3,237
救急搬入件数	124	118	130	137	132	121	135	127	149	147	113	153	1,586
救急入院件数	61	58	60	83	64	72	63	66	83	80	56	90	836
平均在院日数	16.5	16.9	18.6	17.7	16.6	16.8	17.2	16.7	16.7	17.5	17.9	16.6	17.1

診療圏分布

外来

	件数	比率 (%)
南 区	9,881	69.66%
左 京 区	149	1.05%
右 京 区	548	3.86%
北 区	97	0.68%
東 山 区	116	0.82%
上 京 区	92	0.65%
中 京 区	189	1.33%
西 京 区	445	3.14%
下 京 区	458	3.23%
伏 見 区	670	4.72%
山 科 区	122	0.86%
京都市内の占める件数と割合 12,767 件 90.00%		
向 日 市	200	1.41%
長 岡 京 市	99	0.70%
宇 治 市	140	0.99%
亀 岡 市	140	0.99%
城 陽 市	54	0.38%
大 山 崎 町	27	0.19%
そ の 他 の 府 内	166	1.17%
京都市府内の占める件数と割合 13,593 件 95.82%		
滋 賀 県	151	1.06%
大 阪 府	207	1.46%
兵 庫 県	54	0.38%
奈 良 県	29	0.20%
愛 知 県	14	0.10%
そ の 他 の 府 県	120	0.85%
海 外	2	0.01%
不 明	15	0.11%
	14,185	100.00%

入院

	件数	比率 (%)
南 区	2,085	64.55%
左 京 区	50	1.55%
右 京 区	164	5.08%
北 区	19	0.59%
東 山 区	27	0.84%
上 京 区	32	0.99%
中 京 区	75	2.32%
西 京 区	106	3.28%
下 京 区	125	3.87%
伏 見 区	182	5.63%
山 科 区	21	0.65%
京都市内の占める件数と割合 2,886 件 89.35%		
向 日 市	51	1.58%
長 岡 京 市	42	1.30%
宇 治 市	24	0.74%
亀 岡 市	64	1.98%
城 陽 市	9	0.28%
大 山 崎 町	7	0.22%
そ の 他 の 府 内	57	1.76%
京都市府内の占める件数と割合 3,140 件 97.21%		
滋 賀 県	36	1.11%
大 阪 府	24	0.74%
兵 庫 県	2	0.06%
奈 良 県	6	0.19%
東 京 都	0	0.00%
そ の 他 の 府 県	19	0.59%
海 外	0	0.00%
不 明	3	0.09%
	3,230	100.00%

平成 25 年度 生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件数
腹部 (甲状腺・乳腺含)	134	137	151	181	192	163	188	178	156	144	127	172	1,923
心臓	130	149	137	145	122	114	148	127	119	157	142	132	1,622
血管 (頸部・上下肢)	145	113	114	123	117	134	177	129	91	117	148	143	1,551
心電図	412	481	392	445	450	389	414	453	417	444	445	493	5,235
ホルター心電図	12	14	15	22	9	11	17	14	17	13	15	9	168
トレットミル	2	3	3	3	2	0	0	4	1	3	1	2	24
肺機能 (ドック・検診含)	5	28	12	61	46	47	57	52	27	20	20	28	403
脳波	11	6	7	9	5	7	10	15	9	12	11	15	117
誘発電位・伝導速度	3	3	2	3	3	1	0	4	10	2	6	6	43
血圧脈波	19	27	26	30	29	31	55	48	38	42	41	39	425
聴力 (ドック・検診含)	33	23	30	19	20	28	22	20	22	25	16	53	311
重心動揺	2	1	0	0	1	5	4	5	3	1	0	1	23
眼底カメラ (ドック・検診含)	5	32	29	54	51	53	56	45	24	23	29	36	437
総件数	913	1,017	918	1,095	1,047	983	1,148	1,094	934	1,003	1,001	1,129	12,282

平成 25 年度 臨床検査件数

項 目 名	2013 年度
	依 頼 数
生化学的検査	25,380
血液学的検査	25,757
免疫学的検査	21,476
一般検査	5,777
腫瘍関連検査	2,077
肝炎検査	2,347
病理学的検査（細胞診）	150
ウイルス感染症	765
微生物学的検査	1,727
内分泌学的検査	1,457
アレルギー検査	45
輸血検査	1,397
染色体・細胞性免疫検査	1
薬物検査	245
病理学的検査（組織）	353

項 目 名	2013 年度
	依 頼 数
尿沈渣	3,612
HCV 抗体	2,250
HBs 抗原	2,256
HBs 抗体	15
RPR	2,090
TPHA	1,899
RA	143
クロスマッチ	381
トロポニン T	103
ノロウイルス	1
ラピチェック	22
血液ガス	159
アンモニア	178
CEA	1,609
CA19-9	1,512
薬剤感受性	1,502
HIV	985
TSH	645

平成 25 年度 臨床工学検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカー植込み	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	2	8
ペースメーカー電池交換	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
体外式ペースメーカー	0	2	0	0	1	0	0	0	1	1	2	1	8
ペースメーカー外来	42	45	35	51	43	48	52	47	39	52	39	46	539
血液透析（入院）	28	34	16	26	54	45	39	24	28	51	54	87	486
持続緩徐式血液濾過術	4	11	1	0	0	0	5	0	0	13	18	9	61
腹水濾過濃縮再静注法	4	1	0	1	3	2	1	1	1	1	0	0	15
血液成分除去療法	0	0	0	8	8	1	0	0	0	0	0	4	21
血漿交換療法	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	6
自己血液回収輸血	6	7	4	3	3	4	9	5	1	5	8	6	61
I A B P	0	4	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7
経皮的心肺補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器稼働	47	28	4	27	31	28	36	35	34	35	27	56	388

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG	14	18	20	21	28	12	27	29	15	26	31	18	259
PTCA	0	1	2	1	0	1	0	1	0	1	2	1	10
STENT	7	6	9	9	10	5	14	7	3	10	11	7	98
PTA	0	0	1	2	2	2	4	6	2	4	3	0	26
脳アンギオ	4	3	4	1	8	8	5	2	6	4	3	3	51
腹部アンギオ	2	1	0	3	0	1	2	1	1	1	0	0	12
腹腔鏡下手術	13	20	21	15	20	11	18	15	15	20	20	15	203

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析	470	477	447	478	484	453	486	467	489	513	431	445	5,640

平成 25 年度 放射線科検査件数

一般撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	56	53	46	31	36	49	58	39	57	56	49	48	578
椎体	38	78	72	74	67	68	108	86	102	86	88	109	976
胸腹部	578	622	597	634	549	544	587	591	636	654	533	615	7,140
胸腹部（ポータブル）	166	175	147	173	195	136	167	169	164	173	146	136	1,947
体幹部	197	189	165	184	257	183	216	161	184	214	230	199	2,379
体幹部（ポータブル）	8	11	6	11	5	8	6	5	10	11	6	8	95
四肢	440	482	415	443	407	437	441	398	363	367	374	418	4,985
四肢（ポータブル）	16	17	17	12	11	10	18	13	10	13	15	18	170
骨密度測定	10	6	38	6	8	38	11	4	9	5	5	52	192
乳房撮影	20	30	75	63	41	62	93	49	52	36	47	65	633
合計	1,529	1,663	1,578	1,631	1,576	1,535	1,705	1,515	1,587	1,615	1,493	1,668	19,095

CT

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	220	212	244	193	191	203	203	193	195	198	168	253	2,473
胸部	74	57	71	74	66	56	75	64	59	81	66	60	803
腹部	101	107	136	138	136	124	144	136	119	92	114	116	1,463
胸腹部	96	133	93	127	129	117	137	126	118	126	118	157	1,477
四肢・その他	17	22	17	26	24	23	23	18	23	26	33	18	270
冠動脈	2	3	4	2	0	2	2	6	1	0	1	19	42
ファットスキャン	1	2	2	0	0	0	3	2	2	1	0	2	15
合計	511	536	567	560	546	525	587	545	517	524	500	625	6,543

MR

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	133	119	122	141	129	129	146	132	119	144	127	153	1,594
頸椎	18	20	12	9	13	21	15	18	18	21	18	22	205
胸椎	7	3	7	2	3	2	9	4	4	9	6	6	62
腰椎	41	34	26	34	42	32	40	42	40	29	39	29	428
胸腹部	21	22	36	26	20	14	25	33	21	26	22	17	283
骨盤部	7	11	14	13	15	17	12	10	12	6	10	17	144
体幹部	16	25	17	34	31	12	22	10	19	20	16	21	243
四肢	62	68	64	55	43	43	47	44	43	38	50	58	615
合計	305	302	298	314	296	270	316	293	276	293	288	323	3,574

TV

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃透視	9	6	37	44	43	53	37	32	27	24	32	18	362
注腸	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	8
その他造影	6	11	8	10	11	9	7	7	10	2	3	2	86
非造影	1	1	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	9
整形	0	3	1	1	3	1	4	3	2	3	5	1	27
トモシンセシス	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
嚥下造影	2	0	2	1	0	2	2	2	2	0	1	3	17
合計	21	22	50	59	57	65	53	44	42	32	42	26	513

平成 25 年度 科別手術件数

月	手術件数 (臨時数)	外科	整形外科	脳外科	循環器科・その他	月間合計
4	20 (4)	37	7 (3)	2 (1)	66 (8)	
5	27 (4)	40	3 (1)	2	72 (5)	
6	29 (9)	31	3 (1)	0	63 (10)	
7	23 (6)	36 (1)	6	2 (1)	67 (8)	
8	30 (11)	29 (1)	6 (2)	6 (3)	71 (17)	
9	17 (3)	28	6 (4)	0	51 (7)	
10	26 (7)	32 (1)	8 (3)	5 (1)	71 (12)	
11	23 (5)	31 (1)	5 (3)	4	63 (9)	
12	25 (8)	30	5 (2)	4 (3)	64 (13)	
1	26 (7)	35	3 (1)	2	66 (8)	
2	28 (6)	26 (1)	3	3	60 (7)	
3	23 (3)	33	8 (2)	2	66 (5)	
科別合計	297 (73)	388 (5)	62 (23)	32 (9)	780 (109)	

心カテ	腹部 アンギオ	脳 アンギオ	月間合計
12 (3)	1	3	16 (3)
16 (6)	0	3	19 (6)
20 (2)	0	3	23 (2)
19 (2)	3	1 (1)	23 (2)
25 (5)	0	7 (1)	23 (3)
11 (2)	1	6 (2)	30 (6)
22 (3)	2	4	18 (4)
25 (3)	2 (1)	1 (1)	28 (3)
11 (2)	1	6 (1)	18 (3)
23 (4)	1 (1)	2	26 (5)
30 (3)	0	2	32 (3)
19 (4)	0	2 (1)	21 (5)
231 (39)	11 (2)	40 (7)	282 (48)

総合計

1,062 (157)

平成 25 年度 内視鏡検査件数（企業健診・ドックを含む）

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
上部関係	胃カメラ	一般	131	133	152	147	135	125	157	140	117	128	118	155	1,638	
		健診	169	148	151	149	140	146	149	148	86	87	101	89	1,563	
	通常検査合計		300	281	303	296	275	271	306	288	203	215	219	244	3,201	
	止血術		3	3	1	2	6	9	0	6	4	8	3	10	55	
	EMR		1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	6	
	異物除去術		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	
	超音波内視鏡		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	内視鏡的上部イレウス管挿入		0	3	3	1	2	2	1	2	4	1	1	4	24	
	食道・吻合部拡張術		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	食道ステント留置術		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	十二指腸ステント留置		0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	5	
	EVL		3	1	3	1	0	1	4	1	2	3	1	0	20	
	EISL		0	3	1	1	1	1	6	0	1	2	0	3	19	
	EIS		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	APC（食道）		1	0	0	3	0	0	0	0	4	1	1	0	10	
	ESD		食道	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	
	ESD		胃	2	1	3	1	4	3	4	5	1	1	3	1	29
	ESD		十二指腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ESD（上部）			2	1	3	1	5	3	4	5	1	1	4	1	31
	処置合計			10	13	12	11	16	18	17	15	17	16	12	18	175
胃ろう造設術		経鼻	1	3	2	7	2	3	1	5	2	2	2	1	31	
胃ろう交換術		経鼻	8	9	5	11	2	7	9	11	10	9	3	5	89	
胃ろう関係合計			9	12	7	18	4	10	10	16	12	11	5	6	120	
上部内視鏡総合計			319	306	322	325	295	299	333	319	232	242	236	268	3,496	
下部関係	通常検査		74	62	56	67	71	58	67	69	57	51	66	75	773	
	EMR		11	14	12	9	15	12	17	13	8	9	18	11	149	
	止血術		2	3	1	2	1	3	2	1	0	1	2	0	18	
	異物除去術		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拡張術		0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
	イレウス管挿入		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	
	ステント留置術		1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	5	
	APC		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	
	ESD		4	1	1	3	0	1	2	1	0	0	0	1	14	
	処置合計		18	18	16	15	17	16	21	17	11	10	23	12	194	
	下部内視鏡総合計		92	80	72	82	88	74	88	86	68	61	89	87	967	
胆・膵関係	通常検査		1	2	1	3	1	1	0	1	2	1	1	0	14	
	EST		0	3	0	2	1	1	0	0	1	0	3	1	12	
	EST + EML		3	3	0	3	2	2	7	2	0	2	1	1	26	
	EML		2	3	0	1	1	1	1	1	0	1	2	0	13	
	ENGBD		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ENBD		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ERBD		3	5	3	9	5	2	9	4	4	5	3	3	55	
	ERGBD		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	EMS		0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	5	
	EPBD + EML		2	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	6	
	処置合計		10	14	3	15	10	7	20	9	6	8	9	7	118	
	胆・膵系内視鏡総合計		11	16	4	18	11	8	20	10	8	9	10	7	132	
小腸関係	DBE（処置を含む）		0	1	2	4	5	4	3	0	0	4	0	6	29	
	CE		5	3	7	11	8	4	6	5	1	4	4	4	62	
	小腸内視鏡総合計		5	4	9	15	13	8	9	5	1	8	4	10	91	
	CE読影依頼		9	6	9	10	5	7	2	6	10	5	10	6	85	
内視鏡総合計（当院施行分）			427	406	407	440	407	389	450	420	309	320	339	372	4,686	

平成25年度 リハビリテーション部

1. リハビリテーション実施実績

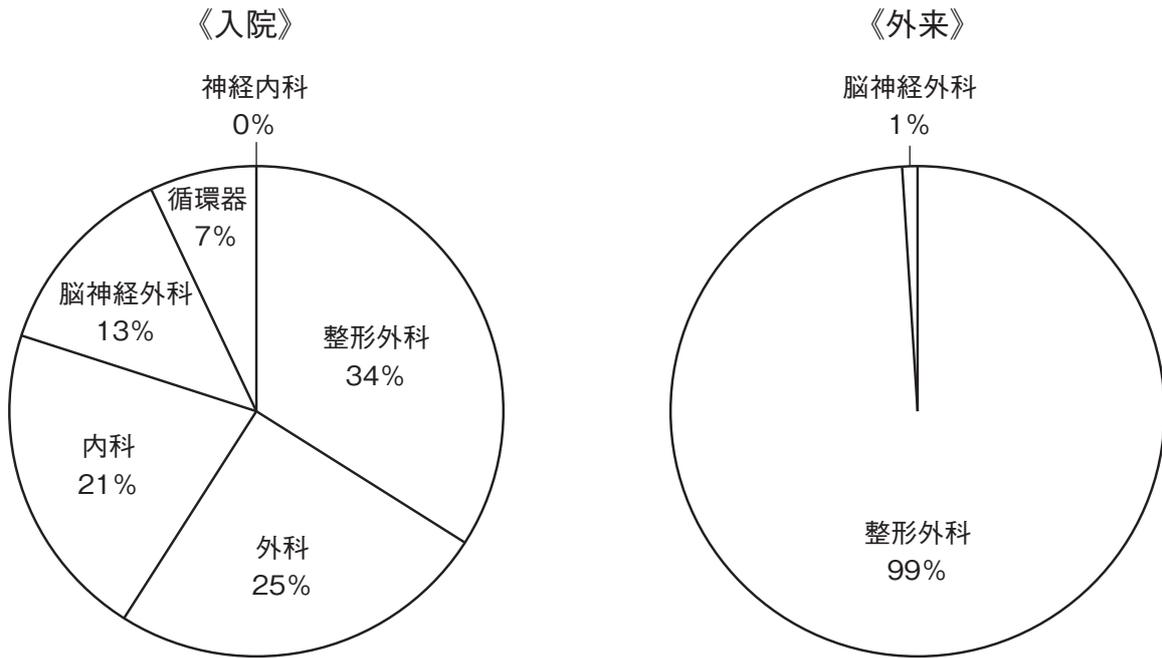
《入院》

	脳血管疾患等		脳血管 ：廃用	運動器（Ⅰ）		運動器 （Ⅱ）	呼吸器（Ⅰ）		早期加算		合計
	健保	労災		健保	労災		健保	労災	～14日	15日～	
P T 単位数	8,370	115	14,610	16,249	475	3,461	18	0	12,398	11,711	43,298
O T 単位数	6,055	0	426	2,393	284	238	0	0	2,224	2,214	9,396
S T 単位数	3,446	66	5,532								9,044
合計単位数	17,871	181	20,568	18,642	759	3,699	18	0	14,622	13,925	61,738

《外来》

	脳血管疾患等		脳血管 ：廃用	運動器（Ⅱ）		呼吸器（Ⅰ）		合計	総合計
	健保	労災		健保	労災	健保	労災		
P T 単位数	249	21	166	6,872	336	0	0	7,644	50,942
O T 単位数	182	10	8	3,395	282	0	0	3,877	13,273
S T 単位数	30	2	1					33	9,077
合計単位数	461	33	175	10,267	618	0	0	11,554	73,292

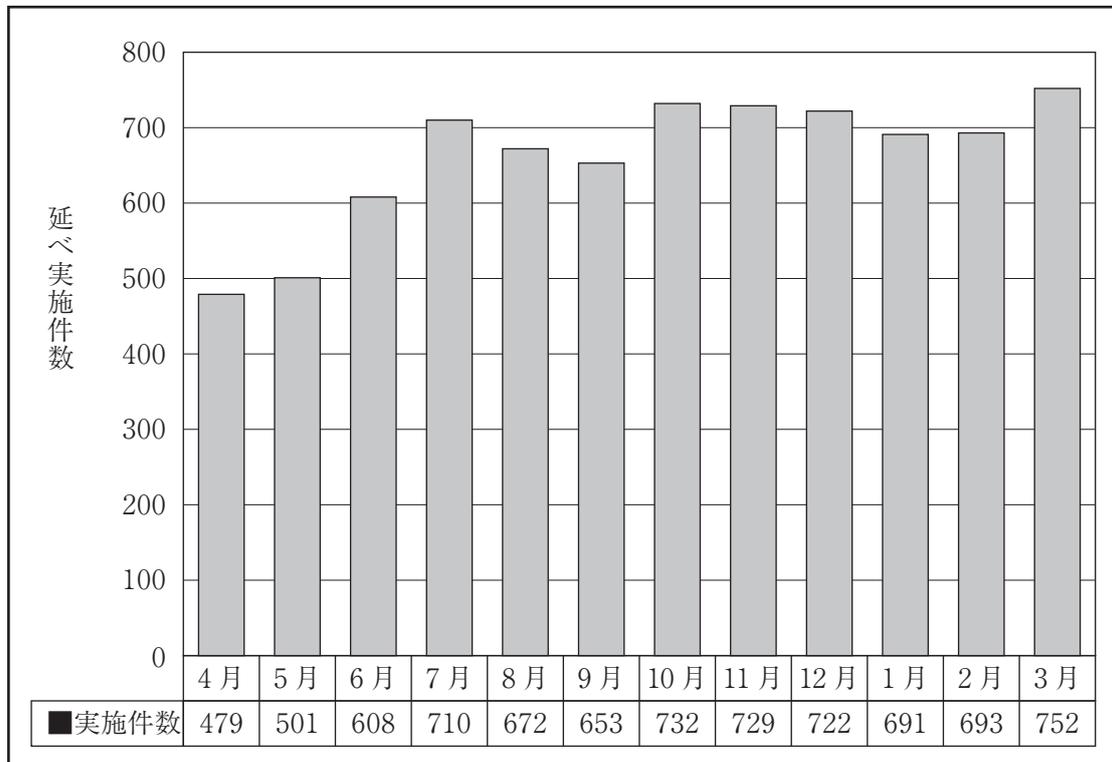
2. 依頼診療科分布



平成 25 年度年間総処方件数

入院：1257 件、 外来：405 件

3. 訪問リハビリテーション実施実績



平成 25 年度 薬剤部

処方箋枚数

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来調剤	868	72.3	81	107	51	56	55	60	33	49	69	98	114	95
1日平均	2.4		2.7	3.5	1.8	1.8	1.8	2.0	1.1	1.6	2.2	3.2	4.1	3.1
入院調剤	74,415	6,201.2	5,973	6,230	6,193	6,279	6,296	5,737	6,949	6,037	6,474	6,245	5,844	6,158
1日平均	204.4		199.1	201.0	213.6	202.5	203.1	191.2	224.2	201.2	208.8	201.5	208.7	198.6
入院注射	83,868	6,989	6,737	6,944	5,664	6,106	7,241	6,263	7,501	7,413	7,105	7,918	5,662	7,176
1日平均	229.9		224.6	224.0	195.2	197.0	233.6	208.8	242.0	247.1	229.2	255.4	202.2	231.5

薬剤管理指導料

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
算定数	3,313	276.0	232	272	281	325	289	260	319	288	260	254	262	271
内、ハイリスク薬管理	1,495	124.5	105	118	134	143	134	120	149	132	117	101	128	114
退院時薬剤情報管理指導料	2,029	169.0	163	170	146	180	185	159	179	157	177	156	159	198

無菌製剤処理科

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 悪性腫瘍用剤	447	37.2	41	39	38	37	31	30	49	42	38	35	30	37
内、外来	384	32	38	36	31	35	28	30	38	35	27	29	20	37
2. 高カロリー輸液等	1,413	117.7	51	73	36	76	125	76	127	159	216	234	151	89

入院時持参薬

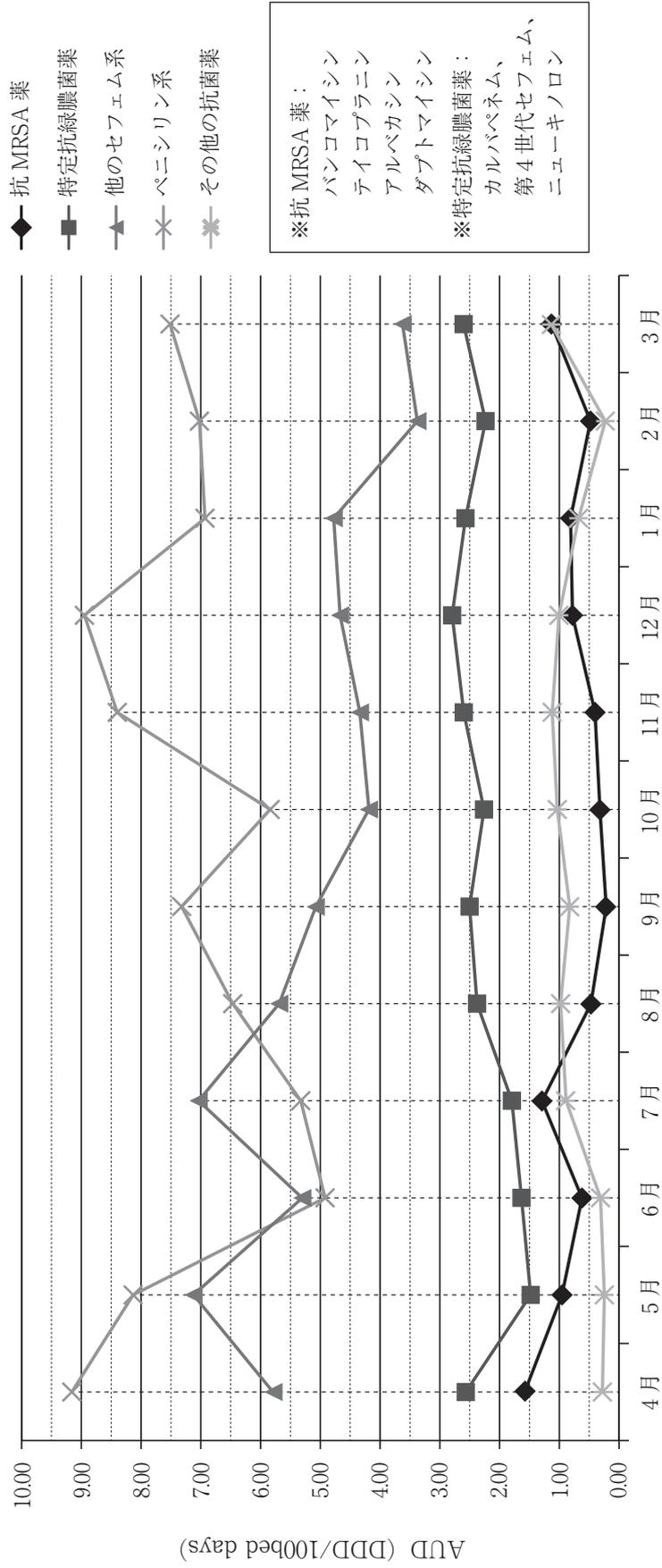
	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鑑別・情報提供件数	2,010	167.5	147	165	144	177	187	165	163	163	157	191	170	181
1日平均	5.5		4.9	5.3	4.8	5.7	6.0	5.5	5.3	5.4	5.1	6.2	6.1	5.8
再調剤指示箋枚数	3,413	284.4	271	263	274	313	270	305	304	258	248	286	286	335
1日平均	9.4		9.0	8.5	9.1	10.1	8.7	10.2	9.8	8.6	8.0	9.2	10.2	10.8

特定生物由来製品使用実績

	年間合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
濃厚赤血球 (RBC)	1,656.0	138.0	152.0	140.0	84.0	118.0	148.0	122.0	158.0	112.0	94.0	220.0	112.0	196.0
内、自己血	256.0	21.3	12.0	20.0	18.0	8.0	22.0	32.0	32.0	14.0	12.0	18.0	38.0	30.0
新鮮凍結血漿 (FFP)	108.0	9.0	4.0	16.0	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	10.0	4.0	7.0
内、血漿交換における使用	52.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0
濃厚血小板 (PC)	735.0	61.3	0.0	100.0	10.0	15.0	295.0	120.0	50.0	50.0	20.0	55.0	20.0	0.0
アルブミン (ALB)	1,876.7	156.4	255.8	87.5	70.8	101.7	120.0	234.2	73.3	189.2	170.8	214.2	125.0	234.2
FFP/RBC	0.05		0.03	0.11	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.05	0.04	0.22
ALB/RBC	1.1		1.7	0.6	0.8	0.9	0.8	1.9	0.5	1.7	1.8	1.0	1.1	1.2

※自己血は200mLを、新鮮凍結血漿は輸血量120mLを、アルブミン製剤は3gを、1単位数として集計。

平成 25 年度 月間分類別抗菌薬使用密度 AUD (Antimicrobial use density) の推移



診断群分類上位一覧

	疾患コード	件数	疾患名
1	040080	245	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎
2	060100	182	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）
3	010060	136	脳梗塞
4	050050	133	狭心症、慢性虚血性心疾患
5	110310	99	腎臓または尿路の感染症
6	160100	86	頭蓋・頭蓋内損傷
7	060340	85	胆管（肝内外）結石、胆管炎
8	050130	76	心不全
9	060130	76	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）
10	060035	72	結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍
11	07010x	69	化膿性関節炎（下肢）
12	060335	67	胆嚢水腫、胆嚢炎等
13	060020	63	胃の悪性腫瘍
14	150010	54	ウイルス性腸炎
15	100380	52	体液量減少症
16	040081	50	誤嚥性肺炎
17	160800	50	股関節大腿近位骨折
18	060040	44	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍
19	070230	44	膝関節症（変形性を含む）
20	060300	43	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む）
21	060050	42	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む）
22	100070	41	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）
23	060210	35	ヘルニアの記載のない腸閉塞
24	030400	33	前庭機能障害
25	060160	32	鼠径ヘルニア
26	060150	31	虫垂炎
27	160620	29	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む）
28	060140	29	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）
29	160610	26	四肢筋腱損傷
30	050030	26	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞

施設基準届出一覧

平成 26 年 12 月 1 日現在

一般病棟入院基本料（7 対 1）	CT 撮影及び MRI 撮影
臨床研修病院入院診療加算（協力型）	大腸 CT 撮影加算
救急医療管理加算	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
診療録管理体制加算 1	外来化学療法加算 1
医師事務作業補助体制加算 1（15 対 1）	無菌製剤処理料
急性期看護補助体制加算 1（50 対 1）	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
栄養サポートチーム加算	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
感染防止対策加算 2	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
患者サポート体制充実加算	集団コミュニケーション療法料
退院調整加算	処置の休日加算 1
救急搬送患者地域連携紹介加算	処置の時間外加算 1
救急搬送患者地域連携受入加算	処置の深夜加算 1
データ提出加算	透析液水質確保加算 1
糖尿病透析予防指導管理料	脊髄刺激装置植込術又は脊髄刺激装置交換術
夜間休日救急搬送医学管理料	経皮的冠動脈形成術
外来リハビリテーション診療料	経皮的冠動脈ステント留置術
開放型病院共同指導料（5 床）	ペースメーカー移植術、ペースメーカ交換術
地域連携診療計画管理料（脳卒中）	大動脈バルーンパンピング法（IABP）
がん治療連携指導料	腹腔鏡下肝切除術
肝炎インターフェロン治療計画料	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
薬剤管理指導料 （医薬品安全性情報等管理体制加算）	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
医療機器安全管理料 1	医科点数表第 2 章第 10 部 手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術
在宅療養後方支援病院	手術の休日加算 1
検体検査管理加算（Ⅰ）	手術の時間外加算 1
検体検査管理加算（Ⅱ）	手術の深夜加算 1
心臓カテーテル法による 諸検査の血管内視鏡検査加算	胃瘻造設術
時間内歩行試験	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
ヘッドアップティルト試験	麻酔管理料（Ⅰ）
神経学的検査	実物大臓器立体モデルによる手術支援

業 績 集

2013 年 1 月～2014 年 3 月
(平成 25 年 1 月～平成 26 年 3 月)

2013年1月1日～2014年3月31日

著 書

1. Okuda K, Daimon Y, Iwase T, Mitufuji S: Novel findings of capsule endoscopy and double-balloon enteroscopy in a case of eosinophilic gastroenteritis Clin J Gastroenterol 6:16-19, 2013.
2. 榑原毅彦：5 - 1 閉鎖性頭蓋骨陥没骨折, 監修：日本脳神経外傷学会, 編集：重症頭部外傷治療・管理のガイドライン作成委員会, 重症頭部外傷治療・管理のガイドライン, 第3版, 医学書院, 2013. 3. 1.
3. 榑原毅彦：5 - 2 開放性頭蓋骨陥没骨折, 監修：日本脳神経外傷学会, 編集：重症頭部外傷治療・管理のガイドライン作成委員会, 重症頭部外傷治療・管理のガイドライン 第3版, 医学書院, 2013. 3. 1.
4. 山木垂水：けいれん 今日の治療指針 2014年版, pp20-21, 監修：山口徹、北原光夫, 医学書院, 2014. 1. 1.

原 著

1. 北川一智、甲原純二、須知健太郎、吉岡裕司、松井道宣：下行結腸癌の術前検査にて後天性血友病Aが指摘され腹腔鏡下に手術を行った1例, 臨床外科, 68:479-482, 2013.
2. Okuda K, Ishihara S, Fujita Y, Yamamoto N, Kishimoto M, Konishi E, Yanagisawa A: Simple pathological examination technique for detection of cancer located at the surgical margin of the stomach Gastric Cancer DOI 10.1007/s10120-013-0263-9.
3. 塩見直人、日野明彦、山木垂水：受傷後急性期に重症化した重症頭部外傷の検討：[プロジェクト2009]からの報告, 神経外傷, 36:67-75, 2013.
4. 岡野均、小西英幸、福本晃平、堀江秀樹、富樫弘一、福井康雄、光藤章二、吉川敏一：胃瘻カテーテル交換時の細径硬性鏡観察の有用性（第二報）—直視型と斜視型の比較—, Gastroenterol Endosc 55: 3079-84, 2013.

5. 奥田隆史、柏木里織、堀田祐馬、藤野誠司、片山貴之、新美敏久、土佐正俊、奥田孝太郎、小牧稔之、光藤章二、香川恵造：当院における原因不明消化管出血に対するカプセル内視鏡検査の有用性の検討, 京都医学雑誌, 60: 69-72, 2013.
6. 伊藤幸代, 小林厚美, 南田喜久美：在宅における訪問看護師とケアマネージャー、ホームヘルパーの連携困難に関する調査, 第44回日本看護学会 ― 地域看護 ―, 47-50, 2013.
7. Murakami M, Hirai M, Sakakibara T, Yamaki T, Kusuzaki K:Skull parosteal lipoma with reactive hyperostosis: A case report Neuro Med Chir (Tokyo) 54:314-316, 2014.
8. Okuda K, Ishihara S, Fujita Y, Yamamoto N, Kishimoto M, Konishi E, Kato Y, Yanagisawa A: Simple pathological examination technique for detection of cancer located at surgical margin of the stomach Gastric cancer, 17: 281-286, 2014.

雑誌掲載

1. 山木垂水：＜病院だより＞ 医療法人同仁会（社団）京都九条病院, 京府医大誌, 122:163-165, 2013.
2. 山木垂水：Up To Date ミニ講座 Q&A 脳卒中の病態、予防、治療, 京都医報, No.2019, 28-30, 2013.
3. 松田淳子：理学療法診療ガイドライン・3 脳卒中の理学療法診療ガイドライン, 理学療法ジャーナル 47, 533-540, 2013.

特別講演

1. 北川一智：京都市南区における地域歯科医師会と京都九条病院の周術期口腔ケアに対する取り組み, 京都府歯科医師会 平成24年度京都地域包括ケア推進交付金事業在宅あんしん「口腔サポート」プロジェクト「連携推進研修会（周術期口腔ケア研修会）」, 2013. 3. 2, 京都.
2. 佐久間孝雄：高血圧の診断手順と治療, 第5回東寺カンファレンス, 2013. 3. 23, 京都.

3. 光藤章二：抗血栓療法と消化器内視鏡 — 新たなガイドラインと消化管粘膜障害 —, 第6回九条カンファレンス, 2013. 4. 6, 京都.
4. 光藤章二：逆流性食道炎における最新治療について, 第12回京都北部平成内視鏡研究会, 2013. 4. 20, 京都.
5. 光藤章二：薬剤起因性消化管粘膜損傷 — 新たなPPIによるNext Regimen —, 水見市医師会学術講演会, 2013. 4. 17, 富山.
6. 北川一智：変わりゆく消化器外科手術 — ヘルニアから肝切まで腹腔鏡の時代 —, 第6回東寺カンファレンス, 2013. 5. 25, 京都.
7. 光藤章二：カプセル内視鏡 — 新たな視点での適応拡大, 第2回京都カプセル内視鏡研究会, 2013. 6. 15, 京都.
8. 光藤章二：H. pylori 感染とその周辺疾患 — 病態と治療 —, 第42回ユウゲント勉強会, 2013. 7. 20, 京都.
9. 大槻康雄：ひざの痛みの治療法 ～保存的療法から人工関節置換術まで～, 第7回東寺カンファレンス, 2013. 9. 21, 京都.
10. 光藤章二：ピロリ感染胃炎における癌の拾い上げ診断（経鼻内視鏡から拡大内視鏡迄） — FICE 観察も含めて —, 京都南部消化器府フォーラム, 2013. 11. 30, 京都.
11. 光藤章二：進化するカプセル内視鏡 — 適応拡大と大腸カプセル内視鏡 —, 第117回京都消化器医会総合画像診断症例検討会, 2013. 12. 7, 京都.
12. 光藤章二：NSAID 起因性消化管粘膜障害 — 発症のリスクと予防 —, NEXT Lecture Meeting in 小浜, 2014. 3. 10, 福井.

シンポジウム

1. 楠崎克之、松原孝夫、松峯昭彦、須藤啓広：アクリジンオレンジ治療法, 第86回日本整形外科学会学術総会, 2013. 5. 23-26, 広島.
2. 奥田孝太郎、光藤章二：カプセル内視鏡（CE）における小腸出血の臨床像の解析 日本消化器内視鏡学会近畿支部, 第90回支部例会, 2013. 6. 22, 大阪.

3. 光藤章二、奥田孝太郎、伴尚美、前田利郎、小牧稔之、時田和彦、小山田裕一、竹村俊樹、内藤裕二、吉川敏一：カプセル内視鏡の適応拡大によって何が見えて来るか？，第6回日本カプセル内視鏡学会学術集会，2013. 7. 28，東京.
4. 榊原毅彦、平井誠、村上守、山木垂水、小川加奈美、松井淳琪：重症脳損傷患者に対する積極的脳平温療法後の体温管理の重要性，第16回日本脳低温療法学会，2013. 7. 20，名古屋.
5. 榊原毅彦、平井誠、村上守、山木垂水：高齢者の自転車、二輪車事故における重症頭部外傷の傾向 — 頭部外傷データバンク Project 2009 をもとに —，第37回日本脳神経外傷学会，2014. 3. 7-8，東京.

ワークショップ

1. 榊原毅彦、平井誠、村上守、山木垂水：高齢者の自転車事故における重症頭部外傷の傾向，— 頭部外傷データバンク Project 2009 をもとに —，第36回日本脳神経外傷学会，2013. 3. 7-8，名古屋.

パネルディスカッション

1. 北川一智：高齢者医療における勤務医のあり方 ～病院を退院していただくために行うことは？，第30回京都勤務医部会総会，2014. 3. 15，京都.

教育セミナー

1. 中村祐司：社会保障制度 ～発症直後から患者を支える社会保障制度～，STROKE 2014，2014. 3. 13-15，大阪.

一般演題

1. 光藤章二：カプセル内視鏡診断ネットワークの実績と今後 — OGIB から適応拡大症例まで —，第1回京都カプセル内視鏡研究会，2013. 1. 12，京都.

2. 羽田哲也、佐久間孝雄、吉尾拓朗：「あなたならどうする？ 90代女性陳旧性心筋梗塞既往の心機能低下三枝疾患」～冠動脈バイパス手術（CABG）？ カテーテル治療（PCI）？～ 2013. 1. 12, 千葉.
3. 小野千里, 南田喜久美：看護師と嚙下機能評価の共有による訓練の成果, 第16回京都府看護学会, 2013. 1. 18.
4. 榊原毅彦、平井誠、村上守、山木垂水：高齢者の自転車事故における重症頭部外傷の傾向 — 頭部外傷データバンク Project 2009 をもとに —, 第26回日本老年脳神経外科学会, 2013. 3. 1, 東京.
5. 村上守、平井誠、榊原毅彦、山木垂水：高度石灰化を呈する鎖骨下動脈狭窄症に対し経皮的血管形成術を行った血液透析患者の2症例, 第38回日本脳卒中学会総会, 2013. 3. 21-23, 東京.
6. 平井誠、村上守、榊原毅彦、松井淳琪、山木垂水：当院における急性期脳梗塞治療の変化, 第38回日本脳卒中学会総会, 2013. 3. 21-23, 東京.
7. 須知健太郎、北川一智、吉岡裕司、甲原純二、松井道宣：腹腔鏡下腓体尾部切除を施行した2例の経験, 第6回京都消化器外科臨床検討会, 2013. 4. 6, 京都.
8. 奥田孝太郎、奥田隆史、光藤章二、畠山繭子、小西知佳、大門由紀子、柏木里織、堀田祐馬、小牧稔之、香川恵造：当院での胃ESDにおける後出血予防のための工夫, 第85回日本消化器内視鏡学会総会, 2013. 5. 10, 京都.
9. 釜子優美子：泌尿器科における分子標的薬（ソラフェニブ・スニチブ）治療による手足皮膚反応への予防的看護介入の有効性の検討, 第26回日本老年泌尿器学会, 2013. 5. 17, 神奈川.
10. 四本忠彦、渡邊信佳、大槻康雄、楠崎克之：膝蓋骨骨折に対するポリエチレン編糸を用いた骨接合術の術後成績と問題点, 第86回日本整形外科学会学術総会, 2013. 5. 23-26, 広島.
11. 竹岡亨、松田淳子、植田俊哉、榎場瑞貴、稲岡秀陽：再入院の経験を持つ廃用症候群患者の特徴 過去5年間のデータを基に, 第48回日本理学療法学会学術大会, 2013. 5. 25, 名古屋.

12. 安藤良平：周手術期口腔ケアを取り入れた当院の術後回復力強化往路グラム，第19回京滋NST研究会，2013. 6. 1，京都.
13. 中村祐司：一般病院での脳卒中患者に対するチーム医療の現状，第48回京都病院学会，2013. 6. 9，京都.
14. 岡本勝博、松田淳子、稲岡秀陽、北川一智：ERAS プロトコール実践における効果検証，第48回京都病院学会，2013. 6. 9，京都.
15. 榎場瑞貴、松田淳子：浸透圧性脳症を発症し、約2ヶ月の意識障害後、活動レベルが改善した症例を経験して，第48回京都病院学会，2013. 6. 9，京都.
16. 榊原毅彦、平井誠、村上守、山木垂水、小川加奈美、松井淳琪：重症脳損傷患者に対する積極的脳平温療法の体温管理の重要性，第27回日本脳神経救急学会，2013. 6. 15，東京.
17. 四本忠彦、渡邊信佳、大槻康雄、楠崎克之：スポーツによるアキレス腱断裂に対する手術療法 — 外固定を用いない早期運動療法の術後成績 —，第5回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会，2013. 6. 20-22，札幌.
18. 友沢明德：調剤薬局における緩和医療領域の薬剤使用量及びその服薬指導の状況，第18回日本緩和医療学会学術大会，2013. 6. 21-22，横浜.
19. 楠崎克之：テリパラチドの造骨肉腫性について，第82回骨軟部肉腫治療研究会，2013. 7. 10，東京.
20. 北川一智、須知健太郎、吉岡裕司、古谷晃伸、松井道宣：周手術期口腔ケアを取り入れたERAS プロトコールの導入，第68回日本消化器病学会，2013. 7. 17-19，宮崎.
21. 小山田裕一、安田和代、山西正芳、西家章弘、沖田美香、磯崎豊、長尾泰孝、光藤章二：カプセル内視鏡検査を施行された小腸腫瘍性病変の検討，第6回日本カプセル内視鏡学会学術集会，2013. 7. 28，東京.
22. 中村祐司：一般病院における脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割，第40回日本脳神経看護研究学会，2013. 9. 12，岐阜.
23. 榊原毅彦、平井誠、村上守、北川一智、松井寿美、松井淳琪、松井道宣、山木垂水：2次救急病院と救命救急センターのコラボレーションについて，第41回日本救急医学会総会，2013. 10. 21-23，東京.

24. 榊原毅彦：重症脳損傷患者に対する積極的脳平穩療法の体温管理の重要性，日本脳神経外科学会，第72回学術総会，2013. 10. 16-18，横浜.
25. 芝ルミ、中川浩文、森井真紀、仲谷成雄、南田喜久美：抜釘（2回目の手術）を受ける患者の不安，第44回日本看護学会 — 成人看護 I —，2013. 10. 24-25，和歌山.
26. 光藤章二：ネキシウムによるヘリコバクターピロリ除菌成績，第13回京都北部平成内視鏡研究会，2013. 11. 9，京都.
27. 門由起子、稲岡秀陽：させたい食事からできる食事へ ～症例を通して学ぶこと～、リハビリテーションケア合同研究大会千葉2013，2013. 11. 12-13，千葉.
28. 小川明里、稲岡秀陽：急性期から自宅退院後，カナダ作業遂行測定を使用して主婦業が行えるようになった一症例，リハビリテーションケア合同研究大会千葉2013，2013. 11. 12-13，千葉.
29. 伊藤幸代、小林厚美、南田喜久美：在宅における訪問看護師とケアマネージャー、ホームヘルパーの連携困難に関する調査，第44回日本看護学会 — 地域看護 —，2013. 11. 15-16，福井.
30. 平井誠、村上守、榊原毅彦、松井淳琪、山木垂水：脳主幹動脈閉塞に伴った急性脳梗塞の治療成績，第29回日本脳神経血管内治療学会，2013. 11. 21-23，新潟.
31. 村上守、平井誠、榊原毅彦：脳出血と急性硬膜下血腫で発症した横S状静脈洞硬膜動静脈瘻の1例，第29回日本脳神経血管内治療学会，2013. 11. 21-23，新潟.
32. 須知健太郎、北川一智、米花正智：腹腔鏡ヘルニア修復術（TAPP）における当院での工夫，第26回日本内視鏡外科学会総会，2013. 11. 28-30，福岡.
33. 北川一智、須知健太郎、米花正智：急性虫垂炎に対する腹腔鏡下虫垂切除の検討，第26回日本内視鏡外科学会総会，2013. 11. 28-30，福岡.
34. 宮脇喜一郎：症例検討（胃2例）第117回京都消化器医会総合画像診断症例検討会，2013. 12. 7，京都.
35. 須知健太郎：横隔膜ヘルニアに対し、腹腔鏡下にヘルニア門を縫合した1例，第8回関西ヘルニア研究会，2013. 12. 9，大阪.

36. 光藤章二：PillCam COLON2 および PillCam SB3 の導入に向けて，第3回京都カプセル内視鏡研究会，2014. 1. 11 京都.
37. 石原ひかる、外山拓也、竹岡亨、松田淳子、稲岡秀陽：人工膝関節全置換術施行後、足部へのアプローチを行い屋外歩行への参加が拡大した一症例，第24回京都府理学療法士学会，2014. 1. 19，京都.
38. 國永智昭、三好咲樹、北川一智、友沢明德：ERAS プロトコルにおける術後有害事象に対する薬剤師事前介入の有用性，第35回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2014. 2. 2，京都.
39. 奥田孝太郎：食道静脈瘤に対する EISL — 手技の実際と治療成績 —，京都 GI クラブ，第32回勉強会，2014. 2. 8，京都.
40. 松岡加世子、北川一智、高安郁代、安藤良平、尾木敦子、友沢明德：神経因性食思不振患者に対するアマンタジン塩酸塩投与の有用性，第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会，2014. 2. 28，横浜.
41. 北川一智、須知健太郎、米花正智、甲原純二、吉岡裕司、松井道宣：消化器がんに対する南歯科医師会との連携，第26回下西集談会，2014. 3. 1，京都.
42. 須知健太郎、北川一智、吉岡裕司、甲原純二、米花正智、松井淳棋、松井道宣：腹腔鏡下ヘルニア修復術（TAPP）の利点と欠点，第26回下西集談会，2014. 3. 1，京都.
43. 岡本勝博、稲岡秀陽、松田淳子、川端涼太、石原ひかる、北川一智：ERAS プロトコル導入後の活動量と心理面の関連性について，第26回下西集談会，2014. 3. 1，京都.
44. 鈴木貴尚、南田喜久美：遷延性意識障害患者への座位援助 — 効果的な覚醒を目指して —，第26回下西集談会，2014. 3. 1，京都.
45. 三宅悠平、南田喜久美：認知症高齢者の睡眠障害の改善 — 光療法を用いて —，第26回下西集談会，2014. 3. 1，京都.
46. 一政苑里、南田喜久美：自宅退院を目指す高齢者への内服自己管理に対する看護第26回下西集談会，2014. 3. 1，京都.

47. 光藤章二、畠山繭子、小西知佳、宮脇喜一郎、奥田孝太郎、大門由紀子：ついに到来した大腸カプセル内視鏡の時代 — 変貌する大腸がん二次検診 —, 第26回下西集談会, 2014. 3. 1, 京都.
48. 村上守、平井誠、榊原毅彦、山木垂水：術中 ICG 動注血管撮影を用いた頭蓋頸椎移行部精髓動静脈瘻の一手術例, STROKE 2014, 2014. 3. 13-15, 大阪.

京都九条病院年報編集委員会

診療情報管理室 課長	佐々木 雅 迅
看護部 副部長	南 田 喜久美
リハビリテーション部 部長	稲 岡 秀 陽
薬剤部 課長	堀 真 紀
放射線科 主任	北 野 真 吾
医事課 課長	三 好 智 和
医事課・診療情報管理室 主任	野 崎 智 弘
事務部 部長	西 海 和 成

京都九条病院 年報

2014年12月 発行

発行者 医療法人同仁会（社団）京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10番地
電話 京都 075（691）7121
